

魚 企 画 第 3 4 号

令和 7 年 5 月 30 日

総務大臣 村上 誠一郎 殿

魚沼市長

内田 幹夫

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

(1) 工事完了日 : 令和 4 年 3 月 14 日

(2) サービス開始日 : 令和 4 年 10 月 1 日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目標 (目標年度)	(実績値/目標値)			
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
家庭用 Wi-Fi の設置数	35 世帯 (令和 7 年度)	20 世帯/ 20 世帯	20 世帯/ 25 世帯	19 世帯/ 30 世帯	19 世帯/ 35 世帯

(参考)

提供可能回線数	利用回線数			
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
135 回線	20 回線	20 回線	19 回線	19 回線

3. 目標達成に向けて実施した取組

申込者の金銭的負担をできるだけ軽減するために、幹線から家屋への引込工事を市で行うことで、加入促進に取り組んだ。

4. 評価

加入世帯数の目標値は、対象地区の 60 世帯中 35 世帯を設定し、初年度は 20 世帯が加入したものの、高齢者世帯が多い福山新田地区では未加入の世帯が多く、目標を達成できていない。また、令和 7 年度末における利用回線数は 19 回線であり、利用率（提供可能回線数に対する利用回線数）は 14 %程度と伸び悩んでいるが、これはサービスの利便性が住民に対して十分に周知できていないことが一因と考えられる。今後は、高齢者世帯での活用例等を周知することにより、加入世帯数が増加すれば、利用率の上昇が見込めると考えている。

これまで行った取組としては、インターネットサービス提供事業者への低価格メニューの設定等を打診したが、実現には至らなかった。

一方、住民アンケートの結果、インターネットサービスを利用している 19 世帯中 16 世帯から回答があり、現在のサービスに満足している結果が得られたため、本事業が情報通信の格差是正に寄与していると判断できる。

5. 課題への対応策

加入世帯数の目標が未達成となった原因は、高齢者に対して利便性が伝えきれていないことと判断しており、今年度中に当該世帯に対してサービス内容の周知を行い、目標達成及び利用率の向上のため、サービス提供先拡大に向けて取り組みたい。